

パソコン教室や学校情報化支援における 新型コロナウイルス対応策

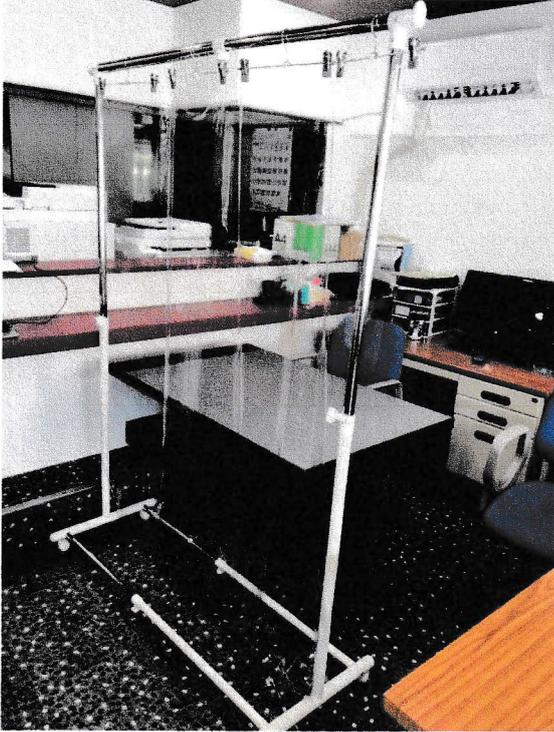
電子自治体アドバイザークラブでは、公民館等でパソコン教室や学校情報化支援を開催するにあたり以下の対応策を実施して参ります。

- 参加者全員の検温を実施し、37度以上の熱、或いは軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合、参加を取りやめて頂きます。
- 受講者数は、会場の定員の半分にします。
- 受講者が密にならないように、距離を空けて配置致します。
- 会場の換気に注意して行います。
- 1時間に1回(10分)程度、できる限り2方向の窓を開けて換気致します。
- 開始前と終了後に会場のテーブル・椅子を消毒致します。
- 開始前と終了後にPC・タブレット・スマホ等を消毒致します。
- 開始前と終了後に全員の手をアルコールで消毒します。
- 参加者全員がマスクを着用し、咳エチケットを守ります。
- 受付でのカーテンシールド、及び、講師と受講者の間にカーテンシールドを設けます。
- サポーターはフェイスシールドを着用し、受講者と対面にならないようにサポートします。
- 名簿には連絡先を記入して頂き、万が一陽性者が出た場合は追跡できるように致します。

以上

三種の防護策

■ 講師用シールド



■ 受付け用シールド



■ 拡声器



高田スマホ講座の様子（6月19日）



e-AAC 新型コロナウイルス対応策（追）

（事前準備）

- ・受講者数は今までの定員の半分にする。
- ・名簿には連絡先を記入（感染者が出た時に備えて）
- ・サポーターはあらかじめテキストに目を通して予習しておく
テキストはドロップボックスに事前にアップ（対応をスムーズにするため）。

（講義前の準備）

- ・講師・サポーターは当日検温し、熱が37度以上の時は参加できない旨を事前に連絡する。
講師の熱が出た場合は中止するのではなく、代替りの講師を予め決めておき、その講師が実施する。
代替サポーターもあらかじめ決めておき、サポーターが行けない場合は代替のサポーターにお願いする。
- ・受講者が密にならないように距離を空けた配置にする。
- ・窓を開けて風通しを良くする。
できない場合は1時間に1回（10分）程度、窓を開けて換気（可能であれば2方向）
- ・講師と一番前の受講者との距離を1～2m空け、透明なビニールシートで遮断する。⇒ 講師用シールド
- ・テーブル・椅子を事前に消毒用のティッシュで拭く
⇒ 消毒用のティッシュが必要（1回につき受講者数×2枚+講師とサポーター×3枚以上）
⇒ 更にティッシュを捨てるビニールの袋が必要。
- ・USBによる配布データはパソコンへの取り込みは受講者にしてもらう。
※ただしUSBの抜き差しはサポーターが行う。
- ・講座の開始前に持参・貸出PCを消毒用のティッシュでキーボードとマウスを拭く。
特に貸出PCについては受講者の見ている前でサポーターが拭きとる。

（受付）

- ・受付で検温する。⇒ 検温器
- ・受付と受講者間は透明なビニールシールで仕切る。⇒ 受付用シールド
- ・受付係は受講者の検温を実施し、検温したことを名簿にチェックを入れる。
感染者が出た時に連絡できるようにするため。
- ・受付の金銭の授受はトレーで行う。
- ・受付時に全員手をアルコール消毒する。⇒ アルコール消毒液
- ・受講者がマスクを忘れた場合はe-AACから提供する。⇒ 予備のマスク
- ・受講者の名簿を作成・記載・確認する。

（講義中）

- ・サポーターはなるべく受講者のPCに触らないようにする。
- ・開始前・終了後に、消毒などに時間がかかるので、実質の講義時間が減少する。
⇒ 延長するかどうか等時間配分は担当講師に任せる。
- ・サポーターはマスクとフェイスシールドの着用をする（開始前から）。

⇒ フェイスシールドはe-AACが支給し、後は使った本人が再利用

- ・講師は、講義中はフェイスシールドを外す。声を出すのでフェイスシールドが曇るため。
- ・講師は大声を出さないようにマイクを使用する。 ⇒ マイクとスピーカーを準備する。
- ・受講者との距離を普段より空けておく。
- ・受講者と対面にならないようにサポートする（同じ方向でサポートする）。
- ・講義範囲を超えた個別の質問は受け付けない（密を避けるため）。
- ・休憩時間等で受講生と無駄な話は長くならないように心がける(同上)。

(終了時)

- ・受講者の持参PC、貸出PCのキーボード、マウスを消毒用のティッシュで拭きとる。
- ・受講者・e-AAC側も手をよく洗う。又は消毒する。
- ・テーブル・椅子を消毒用のティッシュで拭く

(備品)

- ・検温器
- ・講師用シールと装置
- ・受付用シールド装置
- ・拡声器
- ・講師・サポーター用フェイスシールド
- ・トレイ

(消耗品)

- ・マスク
- ・消毒液
- ・ティッシュ、ビニール袋 等
- ・手袋

以上

写真 高田スマホ (6/19) の様子

【参考】 6/1～ 奈良市の新型コロナ対策（公民館など）

- ・来館前に体温を測り、37度以上の熱のある人は使用出来ない
- ・こまめに手洗い・手指の消毒・咳エチケットなどの予防
- ・マスクの着用
- ・使用者の名簿の作成
- ・水分の補給を除く飲食は行わない
- ・窓のない部屋は使用しない、
- ・換気設備を使用
- ・1時間に1回（10分）程度、窓を開けて換気（可能であれば2方向）
- ・使用時間の短縮
- ・会場の定員の半数以下
- ・人と人の間隔、1～2m以上、十分な座席間隔
- ・休憩をはさむなど各々が部屋を出入りする機会を設ける

